科目名	授業時数	教科書名	副教材名
高校１年 総進・SG 生物基礎	2	改訂　高等学校 生物基礎(第一学習社)	セミナー生物基礎 (第一学習社)

１．授業のねらい

① 生物学的な概念・思考方法を用いて，生物に関する基礎知識を身につける。
② 大学受験のための選択科目として選択ができるような知識を身につける。
③ ICT を活用したアクティブラーニングにより，学習者どうしが主体的，対話的，協働的に学び，自ら進んで学ぶ意識を培う。

２．授業のすすめ方

① 授業に対して真面目に積極的に取り組むこと。疑問点は質問するなど，知識を習得するとともに内容理解を深めるよう努めること。

② 板書説明の他，問題集・タブレットを活用した授業を展開する。

③ 実験・観察はその目的・方法を十分に理解し，安全に積極的に取り組むよう努めること。結果記録・考察に重点をおき理解を深めること。レポート提出は期日厳守すること。

④ 小テスト・演習問題等のプリントは各自ファイルを準備し，自宅学習にて活用できるよう，管理すること。

⑤ Web テストや配信される演習問題を，タブレットを使用し解答すること。

３．学習上の留意点

① 受験を意識して１年間真剣に授業に取り組み，基礎知識の習得に努める。自宅学習として授業の復習をする習慣を定着させる。

② ノートを見直し，分らない部分などはそのままにすることなく，質問するよう努めてもらいたい。

③ 日頃から用語・概念など重要事項について理解を深め，演習問題を解答する中で，内容理解・計算力・考え方を身につけてゆく。

④ 考査前は計画を立て，問題演習を十分に行うこと。また，試験で正答を得られなかった問題を復習し，弱点の克服に努めること。

⑤ 問題集（セミナー生物基礎）・タブレットを活用した Web テストをきちんと学習し，知識を定着するよう努める。

４．副教材・参考文献

① 問題集（セミナー生物基礎）の演習を行い，受験に対応するための実力養成を図る。

５．評価の視点・テスト・課題等

平常点は，提出物（課題・実験レポート），小テスト，授業態度などを主として評価する。
定期考査，平常点等を基に「知識・技能」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」の３観点について学年末に評価します。

６．定期考査

① 定期考査は各回 100 点満点の問題で，１学期中間・期末，２学期中間・期末，学年末の５回実施する。

② 定期考査は，試験範囲に関する問題を幅広く出題する

７．授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	《第１編　生物と遺伝子》 第１章　生物の特徴 １生物の多様性と共通性 ２細胞とエネルギー ※タブレットを用いて内容を確認 ◆　定期考査（１学期中間） 第２章　遺伝子とその働き １遺伝子の本体の構造 ２遺伝情報の複製と分配 ３遺伝情報とタンパク質の合成 ※タブレットを用いて内容を確認 ※実験 ◆定期考査（１学期期末）	①授業中の取り組み（板書・問題演習･解答解説･発言） ②小テスト・レポートなど 以上を１学期平常点 20 点満点に換算し，評価する。	・生物の特徴を考え，生物にとって細胞とは何かを理解する。 ・細胞小器官の構造と働きについて理解する。 ・物質代謝とエネルギー代謝の関係，ATP について理解し，実験を通して酵素のはたらきも関連付けて覚える。 ・核内に含まれる DNA の構造を覚える。また，DNA の複製の過程を理解する。 ・体細胞分裂の意味とその過程について理解する。 ・タンパク質合成の過程を理解する。 ※授業と並行して問題演習を行い，知識を定着できるよう，努める。
二学期	9 10 11 12	《第２編　生物の体内環境の維持》 第３章　生物の体内環境 １体液とその働き ２体内環境の維持のしくみ ３生体防御 ※タブレットを用いて内容を確認 ◆定期考査（２学期中間） 《第３編　生物の多様性と生態系》 第４章　植生の多様性と分布 １植生と遷移 ２バイオームとその分布 ※タブレットを用いて内容を確認 ◆定期考査（２学期期末）	①夏季休暇中の課題の評価。 ②授業中の取り組み（板書・問題演習･解答解説･発言） ③小テスト・レポートなど 以上を２学期平常点 20 点満点に換算し，評価する。	・体内環境の維持（恒常性）について理解する。 ・神経系・内分泌系・免疫系の相互作用により，体内環境が維持されていることを理解し，その具体例を学ぶ。 ・森林の階層構造と遷移について理解する。 ・「バイオーム」というものを理解する。 ※授業と並行して問題演習を行い，知識を定着できるよう，努める。
三学期	1 2 3	第５章　生態系とその保全 １生態系 ２生態系のバランスと保全 ※タブレットを用いて内容を確認 ◆定期考査（３学期期末）	①夏季休暇中の課題の評価。 ②授業中の取り組み（板書・問題演習・解答解説・発言） ③小テスト・レポートなど 以上を３学期平常点 10 点満点に換算し，評価する。	・生態系におけるさまざまな生物の役割について考える。 ・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環を理解する。 ※授業と並行して問題演習を行い，知識を定着できるよう，努める。